

令和7年度 八千代市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次第

日 時 令和8年1月22日(木)

18:30～20:00

場 所 市役所別館2階 第1・2会議室

1. 新委員紹介

2. 議題

- (1) 八千代市の認知症施策と取組について
- (2) 八千代市認知症施策推進計画の策定について
- (3) 認知症施策推進協議会(仮称)について
- (4) 令和7年度 認知症初期集中支援チームが関わった事例について
- (5) その他

八千代市認知症初期集中支援チーム検討委員会 委員名簿

任期 R5.2.1-R8.1.31

	委員推薦依頼先団体名	委員名
1	一般社団法人八千代市医師会	中村 明澄
2	一般社団法人八千代市医師会	三浦 伸義
3	一般社団法人八千代市歯科医師会	中澤 正博 →稲山 雅治 ※ →小林 巨人 ※
4	一般社団法人八千代市薬剤師会	小川 敦 →松本 孝章 ※
5	八千代病院認知症疾患医療センター	池城 緩厘弥
6	八千代市訪問看護師会	岩崎 千昇
7	八千代市介護サービス事業者協議会	柴田 茜
8	八千代市介護サービス事業者協議会	吉田 裕貴 →有本 多可江 ※
9	やちよケアマネ・ネットワーク	水戸部 亜紀子
10	社会福祉法人翠燿会（委託包括）	松田 淳子
11	社会福祉法人清明会（委託包括）	関根 太郎

※中澤 正博氏 委嘱期間:R5.2.1~R5.9.15
 稲山 雅治氏 委嘱期間:R5.10.2~R7.7.16
 小林 巨人氏 委嘱期間:R7.7.31~R8.1.31

※吉田 裕貴氏 委嘱期間:R5.2.1~R6.3.19
 有本多可江氏 委嘱期間:R6.3.27~R8.1.31

※小川 敦氏 委嘱期間:R5.2.1~R6.10.30
 松本 孝章氏 委嘱期間:R6.11.8~R8.1.31

八千代市の認知症施策・取組について(令和7年度・令和8年度)

資料 1

【目指す姿】認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることができる

【現状】

- ・認知症サポーターの養成者数が少ない。参加者の属性に偏りがある
- ・認知症サポーターの活躍の場が限られる
- ・チームオレンジ、認知症カフェ等認知症の方に向けた居場所は増えてきているが認知症当事者の参加が少ない
- ・認知症施策全般を通して認知症本人の声を拾うことができていない

【課題】

- ・認知症を正しく理解している人の数や属性が限られており、本人の意思が尊重されていない可能性がある。
- ・認知症本人とその家族の声を拾う方法の確立ができておらず、認知症本人を起点とした施策づくりができていない。

【令和7年度の重点取組について】

- ①本人・家族の声を聴く
 - ・認知症本人の声を起点とした認知症施策推進モデル事業に参加し、認知症本人が参加している居場所に出向いたり、認知症本人の声を拾い方の検討ができた。
 - ・認知症本人ミーティングを開催に向けて準備することができた。(令和8年1月30日実施予定)
- ②認知症サポーターの対象拡大
 - ・小学生向け認知症サポーター養成講座開催に向けて準備は継続しつつ、他の普及啓発方法も検討する。
- ③居場所づくり
 - ・認知症カフェが1箇所増えて4か所になった。定期的に認知症地域支援推進員が訪問し運営の後方支援を実施した。
 - ・新規で認知症カフェ立ち上げのご相談があり、立ち上げに向けた後方支援を実施することができた。
 - ・認知症カフェ運営者交流会を開催し、認知症カフェ運営者同士で運営状況や課題を共有することができた。

【令和8年度の重点取組について】

- ①認知症に関する理解促進
 - ・認知症サポーター養成講座や、認知症月間、講演会等の様々な方法で、市民や専門職に対して認知症について普及啓発していく。また、「新しい認知症観」について普及啓発し、認知症に対するネガティブなイメージを変容できるように努める。
- ②本人・家族の声を積極的に聴き施策化する
 - ・認知症本人及び家族の声を広く聴くため、効果的な声の拾い方を認知症地域支援推進員と検討する。
 - ・本人の声を起点とした施策づくりを行う。

令和7年度

(1) 認知症に関する理解促進
 1) 認知症サポーター養成講座の開催
 ①認知症サポーター養成講座の実績

	R5	R6	R7(12月末)
一般	15回(416人)	17回(489人)	10回(241人)
学生向け	4回(197人)	4回(113人)	8回(158人)
職域向け	4回(64人)	4回(86人)	4回(74人)
合計	23回(677人)	25回(688人)	22回(473人)

②小学生向けの認知症サポーター養成講座開催について【重点②】
 ・大和田公民館主催講座として、小学生向け認知症サポーター養成講座を開催し、小学生9名の参加があった。
 ・小学生向け認知症サポーター養成講座を実施する講師を養成する研修を5名の職員(委託包括職員含む)が受講した。

③認知症サポーターになった方への今後の活動について検討【重点③】
 認知症サポーター養成講座受講者の活動については、引き続き検討が必要。

2) 認知症の日(9/21)及び月間(9月)に合わせた集中的な普及・啓発
 ①認知症普及・啓発に関するイベント
 《月日》令和7年9月10日(水) 13:00～16:00
 《場所》イオンモール八千代緑が丘
 《内容》体験型イベントを実施。下記のブースを設けた。
 ①健康チェック・相談ブース: 包括職員による血圧、握力測定等の健康チェックと健康相談
 ②認知症予防ブース: 脳トレ・色かた・塗り絵
 ③VR体験ブース: 認知症疾患医療センター 八千代病院による認知症ケアVR体験

ブース名	人数
健康チェック・相談	40
認知症予防	17
VR	16
合計(延数)	73

②パネル展示
 《展示期間》
 イオンモール八千代緑が丘
 令和7年9月10日(水)～9月18日(木)
 八千代市役所
 令和7年9月19日(金)～9月30日(火)

③広報やちよ特集号(9/1号)に記事を掲載
 ④認知症特設展示コーナーの設置(市内図書館、市役所)
 ⑤オレンジライトアップ(東京女子医科大学八千代医療センターの夜間ライトアップがオレンジ色)
 ⑥市職員有志及び地域包括支援センター職員によるオレンジTシャツ着用

3) 認知症講演会の開催
 【第1部】講演会、【第2部】認知症の方を介護する家族交流会として開催。
第1回
 《日時》令和7年9月17日(水) 13:00～14:00
 《場所》八千代市市民会館
 《内容》「あんしんした老後を過ごすためにできること～制度と備えのポイントを学ぶ～」
 八千代市社会福祉協議会 権利擁護連携支援センター 本吉勇武氏
 《参加者数》30人
第2回
 《日時》令和8年1月30日(木) 13:00～14:00
 《場所》八千代市福祉センター
 《内容》「認知症への接し方～本人と家族が笑顔で過ごすために～」
 八千代病院 認知症疾患医療センター 池城 纈厘弥氏
 《申込者数》人

(2) 相談先の周知
 1) 八千代市認知症安心ガイド(認知症ケアパス)の発行
 令和8年2月に更新し発行。
 【配布予定先】医療機関・歯科医療機関・薬局・支所・地域包括支援センター・保健センター等
 ※市ホームページにPDFデータを掲載
 2) 広報やちよ特集号(9/1号)に相談窓口等を掲載

(3) 本人・家族の声を積極的に聴く【重点①】
 1) 認知症本人と家族の声を聴く
 ①本人・家族交流会の開催
 1) 家族交流会
 《日時》令和7年9月17日(水) 14:30～16:00
 《場所》八千代市市民会館
 《参加者数》13人
 2) 認知症の人とその家族のための交流会
 《日時》令和8年1月30日(木) 14:30～16:00
 《場所》八千代市福祉センター
 《申込者数》認知症本人 人、家族 人
 ②認知症本人とその家族の声を拾い方の検討
 本人の声を起点とする認知症施策推進モデル事業に参加。認知症本人が参加している居場所に訪問し、認知症本人の声を拾い方について、認知症地域支援推進員と検討した。
 2) 本人、家族の声が聴ける場(認知症カフェ等)に積極的に訪問する
 認知症カフェや介護予防サロン等を訪問し、運営者に認知症本人の参加状況や参加時の様子を伺った。

令和8年度

(1) 認知症に関する理解促進【重点①】
 1) 認知症サポーター養成講座の開催
 ①認知症サポーター養成講座の開催について
 現在、開催希望の相談がある団体に対して、認知症サポーター養成講座を実施している。個人での参加希望があった場合にも、確実に受講できるよう定期開催で講座を実施する等、運用を検討する。
 ②小学生向けの認知症サポーター養成講座開催について検討
 ・引き続き、教育委員会と認知症サポーター養成講座開催について協議する。
 ・認知症サポーター養成講座開催以外の普及啓発方法を検討する。
 ③認知症サポーターになった方への今後の活動について検討
 引き続き、認知症地域支援推進員会議の中で検討していく。社会福祉協議会のボランティアセンター等、既存の仕組みの中で活動先がないかを、関係機関に相談しながら検討していく。

2) 認知症の日(9/21)及び認知症月間(9月)に合わせた集中的な普及・啓発
 認知症地域支援推進員(各地域包括支援センターに配置)の普及啓発部会を中心に、引き続き認知症に関する普及啓発を行う。
 令和8年度は、今までにイベントを開催していない地域での開催や、子ども向けの内容を盛り込むことを検討する等、今までに周知・啓発ができていない層に対して普及・啓発できるよう内容を検討していく。

3) 認知症講演会の開催
 認知症地域支援推進員や地域の関係者が把握している、「本人や家族が困っていることや聞きたいこと」や講演会参加者のアンケート結果を踏まえ、テーマを検討し、定期開催を継続する。

(3) 本人・家族の声を積極的に聴き施策化する【重点②】
 1) 認知症本人と家族の声を聴く
 ①本人・家族交流会の開催
 定期的な開催を継続し、当事者同士の交流を促すとともに、当事者の声を拾う。
 ②認知症本人と家族の声を拾い方の検討
 本人の声を起点とする認知症施策推進モデル事業での結果を踏まえ、引き続き効果的な声の拾い方を検討し、当事者が参加している居場所へ積極的に訪問する等、より多くの声を拾えるよう努める。
 2) 認知症施策推進計画を策定する
 第10期八千代市高齢者保健福祉計画に包含する形で認知症施策推進計画を策定する。
 今まで実施してきた事業を体系化し、本人の声を起点とした施策づくりを行う。



		令和7年度																										
予防	地域包括支援センターによる介護予防教室の開催 【介護予防教室※にて認知症をテーマに開催した件数】 ※「運動」「栄養」「口腔機能」「認知症」の категорияで内容を検討し開催。(複数テーマ可)																											
		R5	R6	R7(12月末)																								
	介護予防教室総数	86	85	66																								
	運動	55	57	45																								
	栄養	33	20	27																								
	口腔	26	27	20																								
	認知症	39	37	17																								
医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	(1) 総合相談での対応(地域包括支援センター) 地域包括支援センター(市内6カ所)の新規相談の件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認知症以外の相談</th> <th>認知症に関する相談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>4439</td> <td>502(11.3%)</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2871</td> <td>324(11.3%)</td> </tr> <tr> <td>R7(11月末)</td> <td>3521</td> <td>435(12.4%)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	認知症以外の相談	認知症に関する相談	R5	4439	502(11.3%)	R6	2871	324(11.3%)	R7(11月末)	3521	435(12.4%)											
	年度	認知症以外の相談	認知症に関する相談																									
R5	4439	502(11.3%)																										
R6	2871	324(11.3%)																										
R7(11月末)	3521	435(12.4%)																										
	(2) 認知症初期集中支援チーム 1) チームに集いだ人数 新規 3件(R7, 12月末) 前年度からの継続1件 2) 地域包括支援センターとの連携強化会議 地域包括支援センター・八千代市認知症初期集中支援チーム・市で連携強化会議を開催。 (3) 認知症の人とその家族のための交流会 開催 【第1部】講演会, 【第2部】認知症の方を介護する家族交流会として開催。 第1回 家族交流会 《日時》令和7年9月17日(水)14:30~16:00 《場所》八千代市市民会館 《参加者数》13人 第2回 認知症の人とその家族のための交流会 《日時》令和8年1月30日(木)14:30~16:00 《場所》八千代市福祉センター 《申込者数》認知症本人 人, 家族 人 (4) 医療介護従事者向け研修会の開催 《日時》令和7年9月4日(木) 19時~20時30分 《会場》八千代市 市民会館 《参加者数》54人 《内容》八千代市認知症診療連携の会及びエーザイ株式会社主催で「認知症啓発活動のコツ~ 認知症疾患医療センターでの取り組みを含めて~」「アルツハイマー病に早く気づくために」をテーマに多職種研修会を開催した。																											
若年性認知症の人の支援・社会参加支援	(1) チームオレンジの支援 チームオレンジ(サロン愛宕MORE, ユーアイおれんじカフェ)に対して, 活動場所の圏域である地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が定期的に訪問し, どのような活動を行っているのか運営者と一緒に検討したり, 参加者支援等の運営の為の後方支援を行った。																											
	(2) 介護予防サロン運営者向け研修会 認知症地域支援推進員より「サロンやサークル等に参加していた方が, 認知症になり参加しづらくなり退会し居場所が無くなる」という課題が挙がった。認知症になっても介護予防サロンに通い続けられるよう, 介護予防サロンの運営者に対して, 認知症に関する基礎知識や対応方法について理解を促すため講義形式での研修を開催した。 《日時》令和7年9月29日(月)14:00~16:00 《場所》八千代市福祉センター 《参加者数》45名 (3) はいかい高齢者家族支援サービス はいかいをする傾向のある高齢者を介護している家族に, 位置情報システムを利用する費用の一部を助成。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(12月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人員(人)</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>件数(件)</td> <td>91</td> <td>90</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table> (4) SOSネットワーク はいかいにより行方不明となった高齢者等を, 警察署などの協力団体によるネットワークを利用することにより, 早期に見出し保護している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(12月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人員(人)</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>件数(件)</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年度	R5	R6	R7(12月末)	利用実人員(人)	13	15	14	件数(件)	91	90	86	年度	R5	R6	R7(12月末)	利用実人員(人)	15	6	12	件数(件)	15	6	12			
年度	R5	R6	R7(12月末)																									
利用実人員(人)	13	15	14																									
件数(件)	91	90	86																									
年度	R5	R6	R7(12月末)																									
利用実人員(人)	15	6	12																									
件数(件)	15	6	12																									

		令和8年度			
予防	地域包括支援センターによる介護予防教室の開催 引き続き, 介護予防教室の1つのテーマとして実施する。				
医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	(1) 総合相談での対応(地域包括支援センター) 地域包括支援センターの総合相談にて, 引き続き相談対応を行う。 総合相談等で聴いた本人や家族の声を蓄積し, 認知症施策推進事業計画に反映させたり, 認知症地域支援推進員会議(月1回開催)にて共有する。				
	(2) 認知症初期集中支援チーム 令和8年度も引き続き, 認知症初期集中支援チームと地域包括支援センターが円滑に連携が行えるよう, 連携強化会議を行う。また, 市と認知症初期集中支援チームも情報共有し, 対象者が適切な支援を受けられるようにする。 (3) 認知症の人の家族交流会 開催 (家族交流会) 引き続き, 定期的に開催し, 介護者の負担や困っている事を把握し, 介護負担の軽減に努める。(認知症本人ミーティング) 本人が本音で語り合える場が必要であることや, 本人の声を拾いニーズに沿った施策づくりを行うため, 定期開催を目指す。 (4) 研修会の開催 令和8年度も引き続き, 八千代市認知症診療連携の会及びエーザイ株式会社主催の研修会の開催を検討する。				
若年性認知症の人の支援・社会参加支援	(1) チームオレンジの立ち上げ及び支援 引き続き, 令和5年度にチームオレンジとして立ち上がったグループに対して, 認知症地域支援推進員が後方支援を行いつつ, 市も定期的に訪問し, 認知症に関する情報を提供を行ったり, 今後の活動内容を一緒に検討する等の支援を行う。 また, 新規チームオレンジの設置についても引き続き, 検討を行う。				
	(2) 介護予防サロン運営者向け研修会 介護予防サロンの運営に活かしてもらうため, 年2回健康や運動等, 様々なテーマで研修会を実施している。認知症になっても通い続けられるサロン運営の一助にしてくれたため, 引き続き認知症の対応等についての研修実施を検討する。 (3) はいかい高齢者家族支援サービス 引き続き, 状況把握に努める。 (4) SOSネットワーク 引き続き, 状況把握に努める。				